

## 新技術導入・経営管理の徹底によるコスト削減

園芸農家が中心となって組織化し、稲作作業を省力化。

【類型】

水稻

+

麦

+

作業受託

うとわり

【組織名】農事組合法人 宇土割営農生産組合（平成16年12月設立）

【所 在】熊本県宇城市

【農業地域類型】平地農業地域

【構成農家戸数】 66戸

【経営規模】

水稻（飼料用米含）13.9ha

麦 5.5ha

作業受託（3作業） 54.8ha



水稻の乾田直播

### 設立の経緯

- トマト、メロン等の施設園芸を中心とした農家がこれら作物に重点的に取り組めるよう、稲作の「省力化」「低コスト化」を図ることが目的。従来からあった任意組織をベースに、JAも出資者に加え、平成16年に法人を設立。

### 取組の特徴・効果

- 麦播種機を利用した水稻乾田直播（4.3ha）と疎植栽培（10ha（30×28cm植（通常比3割減））を導入。
- 担い手農家は殆どが園芸農家で、オペレータの確保が難しかったが、法人化を機に専従のオペレータを雇用。
- 様々な取り組みによって、組織の信用力が高まり、集落内の農家からの全作業受託が増加。
- 直播等の取り組みにより、種子代の削減や省力化を実現。